

「急性期脳梗塞に対する吸引カテーテルを用いた血栓回収術の first pass に用いる手技の選択についての観察研究」ご協力のお願い

## 1. 研究の概要と目的

超急性期脳梗塞の緊急脳血管内血行再検術(ENER)には血栓回収術を含め複数の手技があり、再開通率の向上や安全性を高めるために各手技が併用されることがあります。当施設では原則全例で吸引カテーテルを用いており、各手技(吸引カテーテルとステントリトリーバーの併用手技, 吸引カテーテル単独手技, ステントリトリーバー単独手技)に適宜切り替えています。

当院脳神経・脳卒中科では、ENER での手技の違いによる臨床成績を明らかにするために、ENER を受けていただいた患者について施設内で振り返る研究を行うこととなりました。

## 2. 実施施設, 担当医師

京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	今井 啓輔(責任研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	山田 丈弘(分担研究医師)
京都第二赤十字病院脳神経内科	徳田 直輝(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	山本 敦史(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	猪奥 徹也(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	崔 聡(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	長 正訓(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	上田 凌大(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	加藤 拓真(分担研究医師)

## 3. 研究内容と方法

当施設で ENER を実施した脳梗塞患者様を抽出し、臨床的特徴を明らかにします。対象期間は 2014 年 5 月から 2020 年 7 月までとします。収集するデータは以下の通りです。

患者基本情報と疾患関連情報:年齢や性別などの基本情報, 画像所見, ENER 手技内容, 治療成績, 各種時間経過, 合併症など

本研究の対象患者様のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科にておこないます。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

## 4. 患者様の利益・不利益

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

## 5. 事務局・患者様問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-630

責任研究医師氏名 今井 啓輔(keisuke-imai@kyoto1-jrc.org)